

2026年度 助成案件 [カテゴリー4]の募集概要



[カテゴリー4] 大学等で行う「21世紀型教養教育プログラム」

応募受付期間 2026年2月2日(月)～2026年4月3日(金)〈予定〉

応募資格 大学・研究機関等(学部・研究室のプログラムや、他大学とのコンソーシアム等も可)、NPO、教育事業者等

助成対象プログラムのイメージ

2026年度版募集要項・応募フォームを2026年2月にホームページに掲載します。確認のうえご応募ください

「21世紀型教養教育」…… 私たちを取り巻く様々な環境が激しく変化する中で、現在・将来の課題解決に必要な基礎的素養と解決策を導き出すための世界観・価値軸を身に付けるもの

■ プログラム参加者

- 大学1・2年生相当(18歳～20歳の年齢層)ただし、大学3・4年生相当については、下記「■プログラムの形態」をご参照

■ 21世紀型教養教育 領域

- 人文科学領域(倫理、哲学、宗教、歴史(現近代史を含め)等)を中心に社会科学(法学、経済学、社会学等)、自然科学(数学、物理、生命科学等)を含め、これらの知識を融合させ「正解のない問い」について自分の頭で考えて、アウトプットするプロセスまで含むもの。
- 上記に加え、現代的な課題についても取り上げ、同様の手法で取り組むもの。
(AIと倫理、感染症対策、温暖化、エネルギー問題、ダイバーシティ・インクルージョン、サステナビリティ、SDGsの課題解決等)

■ プログラムの形態

- 大学1～2年生向けに行われる教養教育において、リベラルアーツ関連領域の知識を基に、対話的手法により自己の見識を高め「モノの見方・考え方(観)」を養うもの(Critical Thinking+Writing)。
※大学3・4年生を対象とするプログラムも、専門教育と並行して実施する、学問領域の横断を伴う教養教育プログラムは対象とする。

■ 期待する活動イメージ(例)

- 教養教育関連領域の講義と少人数対話型形式のディスカッションを繰り返すことでの自己啓発を組み合わせたもの。
(大人数での講義と少人数対話型の混合プログラムも対象)
- 大学における正式科目(講義+演習等)、複数の大学を跨ぐ活動など形式は自由。ただし、イベント等数日間の短期プログラムは除く。3カ月以上継続して行われるものに限る。また、正式科目ではないパイロットプログラム等も含む。

助成内容： 年間100～800万円程度

※参加する学生数に応じて想定金額は変動。想定される助成金の用途としてはTA・外部講師の費用、旅費・交通費等。複数団体(自治体、各種法人等)からの同一プログラムへの助成金の有無は問いません。

助成採択件数： 10件程度

助成期間： 1年間(初年度は7月からの9カ月)。取組みの定着を目的に原則3カ年継続助成

応募方法： Web申請のみ。当財団のホームページからお申し込みください。
教育プログラムの概要、取組み体制、社会との関わり、成果評価方法、経費計画等、A4判3～4枚程度の内容のご提出をお願いします。
(26年度の応募フォームは2月に更新予定。ご参考として25年度の募集要項と応募フォームを掲載)

選考プロセス： 選考委員が、一次選考として書類選考を実施の上で、書類選考を通過した応募プログラムについて、面接選考(5月中・下旬頃Zoomによる面接)を行います。

採択決定： 2026年6月



一般財団法人
三菱みらい育成財団

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 丸の内仲通りビル
TEL: 03-6206-3435 問い合わせ先: info@mmfe.or.jp



募集要項



アニュアルレポート